

哲学者 内山節の哲学講座

いま、何を見直さなければいけないのか

- 開催日 2019年7月27日(土)～28日(日) 1泊2日
- 講師 内山節さん(群馬県・哲学者)
- 会場 上野村役場(群馬県) ※JR高崎駅よりバス送迎あり
- 宿泊 今井家旅館(会場から徒歩5分)
- 参加費 税込30,240円(28,000円+税) ※受講料、資料代、宿泊・食事代等込

残念ながら、そんなに素晴らしい時代がこれから待っているという感じでもない。むしろこれまでの世界がいろんなかたちで壊れていく、そういう時代を見なければいけないでしょう。新しく社会をつくり直していかないといけない時に来ている。

そのときに、新しい社会の形はたぶん都市からは出てこない。むしろ共に生きるということを知っている農村社会や漁村社会、山村社会から、これからの社会の基本的なデザインが出てくるのだろうと思います。——JA全国機関新入職員への講演より(2019年4月、東京都内にて)

今年も群馬県上野村で哲学講座を開催します。

新しく社会をつくり直していく時代に求められる世界観の転換とは？ 社会、地域農業のデザインをどう描くか？ 考え、語り合う時間を共にしたいと思います。

内山哲学を育んだ上野村を内山さんと歩きながら、その自然・歴史・風土を感じる時間も設けます。ご参加をお待ちしております。

■おおよそのスケジュール 変更になる場合もあります

1 日目

12:30	集合・受付
13:00	開講 講座説明、村長挨拶 第1講「森林管理をめぐって」
15:20	第2講「農業・農村をめぐって」
17:10	宿に移動、チェックイン、自由時間（入浴など）
18:00	夕食
	懇親会（自由参加）

2 日目

7:30	朝食
8:10	チェックアウト、上野村役場に移動
8:30	内山節さんとむらを歩く
10:30	第3講「〈支配される社会〉をめぐって」
12:10	昼食
13:30	質疑応答、全体討論とまとめ
15:00	終了・解散（高崎駅まで送迎バスあり）

■定 員：30 名（お部屋は男女別相部屋となります）

■持ち物：ノート、筆記用具など（タオル、歯ブラシ、浴衣はあり）



農文協の雑誌
季刊 うかたま
定価 743 円＋税
年 4 回発行
定期購読 2,970 円＋税（1 年分）

上野村の山暮らし
内山さんのエッセイ連載中

内山節さん著書など、関連書籍の販売もいたします。

集 合



- * 電車の方 10:30 高崎駅東口からバスで送迎
- * 自家用車の方 12:30 上野村役場に直接集合

講義内容（予定）から抜粋－

- 所有者にとっての価値の高さが森林を維持させる
- 自然と生者と死者の共同体、そこから生まれた総有概念
- 森林管理に現れた現代社会の限界
- 農業の継承単位を「いえ」から「地域」へ
- 地域に適した「共同体型農業」のデザイン力
- 年金プラス 2000 万円問題の不快
——支配された老後、支配された人生
- 関係をととして世界を捉える
——ヒントは華厳經の一即一切の思想

内山節さんとむらを歩く

上野村を内山さんと歩きながら、その自然
・歴史・風土を感じましょう
（訪問地は調整中）



↑ 昨年の講座の風景

農文協「読者のつどい」事務局宛

2019 哲学講座 お申し込み

FAX 03-3589-1387

E-mail tudoi@mail.ruralnet.or.jp

ふりがな			
お名前	（ 男 ・ 女 ）		
ご住所	〒		
TEL			
携帯電話			
FAX			
E-mail			
現地までの 交通手段（予定）	☐ 電車（送迎付） ☐ 自家用車		

ご職業
何でこの講座を知りましたか
メッセージなど